

学部3年生・修士1年生・2022年卒業予定者対象
法政大学キャリアセンター多摩事務課

「面接対策をしよう」 基礎編・オンライン版

- 本日のレジュメをお手元に用意してください
- 「しよう」シリーズは4つの講座でひとつのシリーズです。他の講座のぜひ視聴してください。どこからでも問題ありません

本日の流れ。そして目的と&ゴール

準備の重要性、行動のきっかけ

面接選考って どんなもの

- 面接選考の目的
- 選考のプロセスと変化
- 面接選考の形式と段階
- 面接選考の種類

おさえておくべき 変化と注意点

- オンライン面接
- 対面面接
- 共通すること

準備をしよう！

- 4つの準備
- 前日・当日・面接後
- まとめ
- 資料

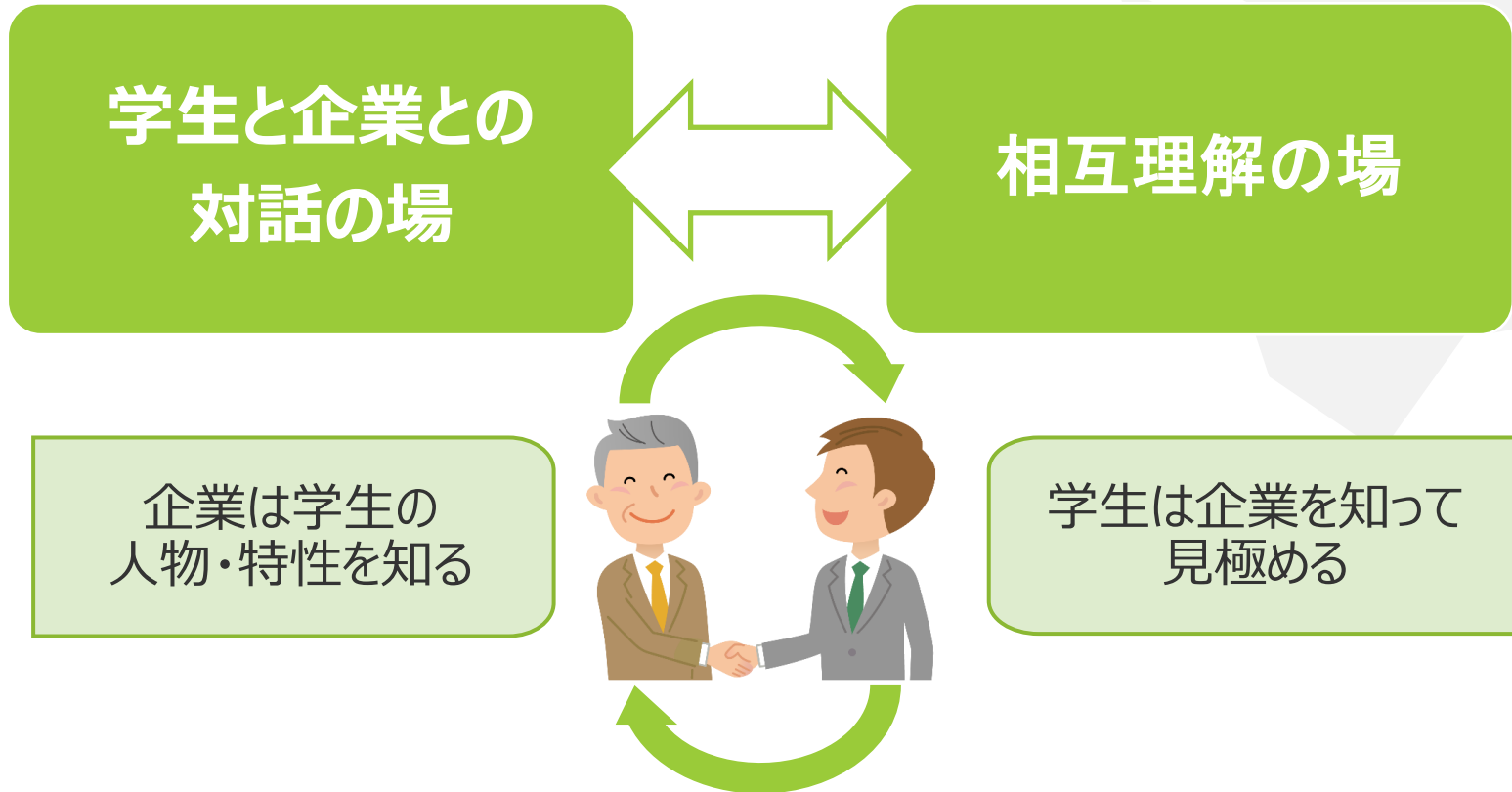
- イメージを持つ
- 準備の重要性に気づく
- 行動のきっかけにする

面接に苦手感がある理由

- ※ 自分のことを話すのは好きではない
- ※ 緊張して真っ白
- ※ 何を聞かれるかわからない。深掘りが怖い

面接選考の目的①

採用面接は相互コミュニケーション



「一緒に働きたい」とお互いに思うことが重要。

面接選考の目的②

自分と企業の接点を見つけて伝える

面接選考とは



自分が話したいことを話す



面接官が知りたいことを伝える



面接官の質問に的確に答えていく

注意点

逆算して自分を企業に
合わせることはしない。
(意識することは大事)



- ① 自分を知り、理解を
深め、言語化する
(自己分析)
- ② 業界・企業を知り、理
解を深める (業界、
企業研究)
- ③ ①②の接点を見つ
けて伝えること

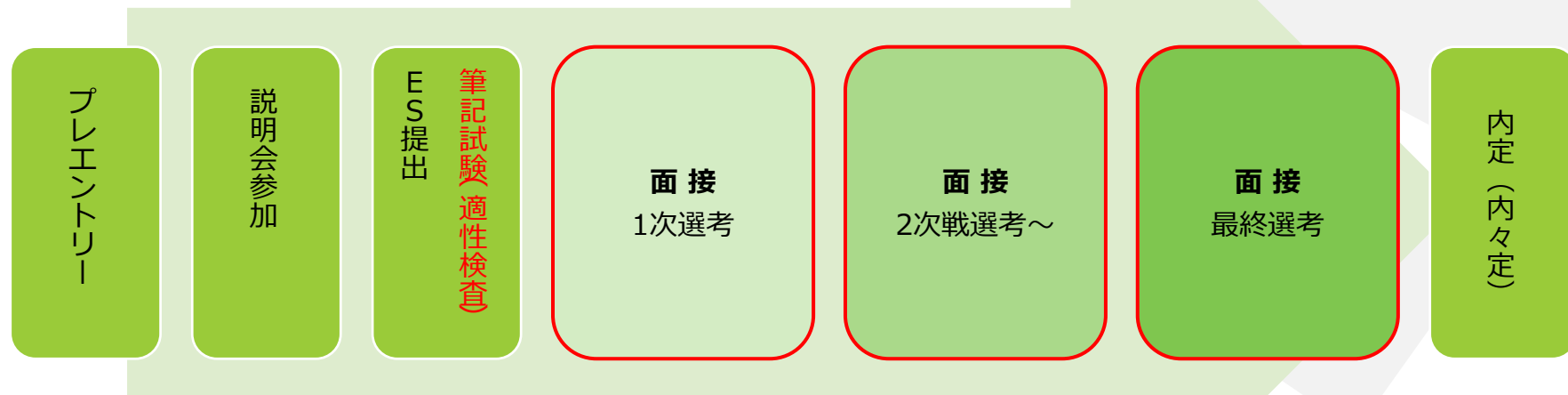
大事なこと



- 面接は**相手がいる**こと
- 面接官が知りたいのは、
「考え方」や「人間性」。
つまり、「**どんな人か**」
- それを伝えるのは、もの
ごとの結果そのものでは
なく、その**過程、プロセス**

選考のプロセスと変化①

プレエントリーから内定まで



2020卒まで
対面面接が主流



2021卒（4年生）

1次面接：WEBが主流
2次面接以降：WEBを中心に対面もあり
最終面接：対面中心
(業界によっては、すべてWEBも)



この傾向は今後も継続していくことが予想される

面接選考の形式と段階

選考の段階と方式

	1次面接	2次面接～	最終面接
方式	WEB	WEB／対面	対面
WEB面接の方式	リアルタイム 録画（人とAIによる評価） 録画（AIによる評価）	リアルタイム	
形式	集団面接、個人面接 グループ・ディスカッション、グループワーク	個人面接（集団面接）	個人面接
面接官	人事担当者、若手社員	現場の管理職、人事管理職	役員、部長
評価ポイント	・ 社会人としての基礎はできているか ・ （同僚、顧客と）一緒に働けるか ・ 社風に合うか ・ 伸びしろはあるか	・ 部下として仕事を任せられるか ・ 企業、仕事を理解しているか ・ 職場に合うか	・ 熱意はあるか ・ 辞めずに働く覚悟はあるか ・ 志望順位の確認 ・ 投資するに足る人物か
備考	● 1次面接の録画タイプは、エントリーシートとともに、「自己PR動画」として提出を求められるケースも多い ● WEB方式の場合、企業側は面接と同時に録画を行い、面接後に別途評価を行う場合もある		

面接の種類

それぞれの面接の形式とポイント

※オンライン面接の場合、画面に見える面接官、参加する学生の数ともに対面より少なめの傾向

種類	形式	ポイント
個人面接 (WEB/対面)	学生 1 人 面接官 2～3 人※	質問を深掘りされる (WHYとHOW) 相手の質問に的確に応える。 会話のキャッチボールを意識する
集団面接 (WEB/対面)	学生 2～6 人※ 面接官 2～3 人	基本的な質問が多い 簡潔に 1 分程度で伝える 集団選考の意図を理解する
グループワーク グループ・ディスカッション (WEB/対面)	5～6 人のグループ※ テーマに沿ってディスカッションし発表する	擬似会議。テーマについて制限時間内に「議論」することで、 チームの「総意」を導き出す。自分の意見を出しつつ、創意を 形成していく、そのプロセスを評価。聴く力と伝える力、チーム ワーク力、チームへの貢献度
その他 プレゼンテーション面接	業務上、他者へ伝える力が必要な業種、職種で 行われることがある	資料づくり、伝え方、時間感など、事前準備・練習が重要

ツールや種類の例

形 式	ツール	特 徴
リアルタイム	Zoom、Skype等	対面式面接に近いイメージ 指定された時間に、指定されたURLへアクセスする
録画 (人とAIによる評価)	HireVue等	人気大手企業で使用される場合が多い
録画 (AIによる評価)	HAKUTAKA、インタビューメーカー、SHaiN等	幅広い企業で使用
グループ・ディスカッション	Zoom、Teams等	
集団面接	Zoom、Teams等	
備考	一発撮りから自己録画、AI判定まで。原稿作り、撮影練習など事前の準備が重要！	

選考のプロセスと変化②

オンライン面接選考、何が変わった？

基本は同じ。ただし、

- ① 環境（会場）
- ② 印象・伝え方
- ③ 伝える内容

変化に対して傾向を知り、準備する

どう変わったのか

	オンライン（WEB）形式	対面
①環境（会場）	<会場が自宅> ・ 通信環境 ・ 部屋的环境 ・ 緊急時のバックアップ準備	<会場が企業内> ・ 企業がすべて準備
②印象・伝え方	<映像かつ上半身のみの印象> ➡表情・目線 <タイムラグ> ➡コミュニケーションが対面よりも取りづらいため、わかりやすく、論理的に話す	<リアル・全身からの印象> ➡動作全般を注意する （入退室のマナー、メリハリ）
③伝える内容	<面接官への視覚情報の少なさ> ➡面接官が、学生の話す <u>内容に集中</u> しやすくなったとの意見も多い。ESの段階から、伝える内容をしっかりブラッシュアップする	

押さえておくべき注意点

具体的な注意点

オンライン面接

- インターネット回線(Wi-Fiと有線LAN、家族の利用)
- 緊急時のバックアップ、連絡準備(PCとスマホ)
- 充電・アップデート
- 映像と照明(上半身の映り方、顔の明るさ、カメラ目線)
- 音声(音量・周囲の音)
- 話すスピード



共通していること 変わらないこと

- あいさつ・笑顔・みだしなみ
(WEB/対面、基本はスーツ)
- 簡潔な話し方
(結論を先に述べる)
- 自分の言葉で伝える
(ES読み上げNG)

よくある質問

- 自己紹介
- ガクチカ
- 自己PR(強み)
- 志望動機
- 逆質問

対面面接

- 入退室のマナー
- 全身の印象



マナー講座



面接・グループ
ディスカッション講座

準備・確認がより重要！

準備をしよう！

面接に向けた4つの準備

考え方や価値観を整理
自分の特徴を把握

I. 自己分析

深掘り質問は
興味があるサインかも。
チャンス！

逆質問はここから。
意欲を示そう！

II. 業界・企業 研究

自分に合った業界・
職種を見つける
企業の魅力や課題
を知る

III. エントリー シート

面接の基礎資料。
しっかり言語化して、
面接に備える！

エントリーシートを通じて
自分を企業に売り込む（表現する）

IV. 面接

自分の向かう方向
と、企業が向かう方
向が一致するのを見極める

ES読み上げNG！
初対面の社会人に、
話して伝えられる？

模擬面接を通して
確認しよう！

筆記
試験



第一志望の企業が、初めての面接にならないようにしましょう！

今、どのくらい準備ができていますか？

どの程度答えられるか「声に出して」話してみよう。

ガクチカ、志望動機（例）

「学生時代に力を入れた活動」についてお尋ねします

- ① 学生時代、どのような活動に力を入れましたか？
- ② その活動のなかで、（あなたの立場で、あなたにとって）、一番大変だったこと（工夫したこと、課題となったこと）はなんですか？
- ③ （その課題に、あなたは）どのように取り組み、結果どうになりましたか？
- ④ その活動全体から得たこと、学んだことを教えてください

当社を志望する理由についてお尋ねします

- ① あなたの「就職活動の軸」を教えてください
- ② それがなぜ、当業界への興味につながりましたか
- ③ （同業他社があるなかで）当社を選んだ理由を教えてください
- ④ 当社で将来、どのような仕事をしてみたいですか
- ⑤ あなたの強みと、当社の業務でどのように活かせるかを教えてください



ESをもとにした「深掘り」への準備（例）

深掘りはWHYとHOW

学生時代、力を入れた活動

地球環境問題を研究するゼミナールで、国際学連対抗研究発表会のチームリーダーとしてチームを率いました。

なぜそのような状況になったのか。具体的にどのような「差」があったのか。問題意識とは何か。リーダーとして、それまで何を働きかけたのか。どうしてうまくいかなかったのか。他にも課題点はあったのか。etc.

なぜ、そのゼミを選択したか。何に興味を持ったのか。それはなぜか。どういう経験からの興味なのか。どのような活動をするゼミかわかりやすく説明。ゼミ活動から何を学び得たのか（学業・学業外）etc.

リーダーは自薦か他薦か。自薦の場合なぜ立候補したのか。他薦の場合はどこを評価されたと考えているのか。リーダーとして最も苦労したことは何か。二番目に苦労したことは何か。メンバーとリーダーの違いは何かetc.

メンバー内で問題意識や取組み姿勢の差

が先立って存在していた。達成できない困難に直面したからです。

原因を探ったところ、**効率を重視した**ことが、意思の疎通を図る機会をなくしてしまっていた。重要な文献についてでは皆で読み込むことを提案し、その上で急いで読むことで全員が同じ

なぜ効率を重視したのか。効率的に行うために、他にどのようなことをやったのか。なぜそのような取組みを行ったのか。なぜリーダーとして、初めてからしっかりコミュニケーションをとろうと思わなかったのかetc.

問題意識とモチベーションを持てるよう徹底しました。すると、共通認識を持ったうえで各自が率直に意見を述べ、お互いの考えを共有することができました。発表大会では、お互いの意見を尊重し、自分の考えをしっかりと伝えることができました。

自分のあたりまえに意地悪くつっこむ！
最低二段階。但し、やりすぎると答えはない。
 なぜ、どのようにと問いかけ、その根本にある**経験と結びつけておく**。

準備をしよう！

前日まで・当日・面接終了後

前日まで

□ 共通

- よくある質問に対して、1分程度で話せるようにする
- 提出ESをもとに、深掘り準備
- 模擬面接で確認

□ WEB

- 会議・面接ツールの試用
- 通信環境の確認
- 面接場所を整える
- アカウント名の確認

□ 対面

- 入退室のマナーの確認
(動画・就活手帳)

面接当日

□ 共通

- みだしなみの確認
(就活手帳)
- 提出ESの確認 (コピー)
- 元気よくあいさつ！

□ WEB

- 指定時間の5分前には入室する
- 開始後の音声・映像の確認

□ 対面

- 会場に15分前には到着する

面接終了後

□ 振り返りを行う

その日のうちにノートを作ろう。

- ① どんなことを聞かれたか
- ② どう答えたか
- ③ **今ならばどう答えるか**
(課題点はなにか)

- 面接時に考えない
- 覚えているだけでOK
- 箇条書きでOK



まとめ：今日から何をする！

できることから始めよう！

面接が苦手

- 自分のことを話すのは好きではない
- 緊張して真っ白
- 何を聞かれるかわからない。深掘りがこわい



面接選考の準備は？

- I. 自己分析（自分を知る）
と
- II. 業界・企業研究（企業を知る）
をもとに
- III. ESを書く（言語化する）
それをもとに

IV. 実践してみる！

- ・友達とzoomで映り方を試す、議論してみる
- ・普段から大人と意識的に話すようにする
- ・キャリアセンターで相談、模擬面接をする
- ・「今やる」シリーズに参加する！ etc.

大事なことは、

「自分のことを話す経験&場慣れ」



- 相談先を複数もつ。困ったら人の力を借りる
- 悩んだら、疑問に思ったら、社会人の意見が欲しい時は、キャリアセンターへ早めに相談！

**キャリアセンターからの
お知らせ**

しょうシリーズには
自己分析、業界研究、ES、面接講座
があります！！

他の講座もぜひ受講ください！！

※一度受講した講座でも、再受講が可能です

講座概要はこちらから↓



予約はこちらから↓



情報ポータル
(<https://www.as.hosei.ac.jp/>)

➡キャリア就職システム

➡「支援行事の参加予約」
から希望の講座を予約

**キャリアセンターでは個別相談を
受けています。**

ぜひ、ご利用ください！！

市ヶ谷はこちら↓



多摩はこちら↓



小金井はこちら↓



本日はありがとうございました。 アンケートにご協力ください。

みなさんの「納得できる就活」になるよう、
今から準備をしていきましょう！
困ったら、キャリアセンターへ！

↓アンケートはこちらより



<参考資料>

本日の説明とあわせて活用下さい

選考のポイント（まとめ）

それぞれの面接の評価点とポイント

種類	集団面接	個人面接	グループディスカッション グループワーク
評価点	「話し方」や「身だしなみ」など、社会人としての 基礎 チェック、 社風に合う 人物かを 集団 のなかで確認	どのような特性（人物・行動）を活かして、 活躍 してくれそうか。「 自己理解⇔企業研究 」ができているか（すぐに辞めない人材か）	他の選考過程では見えない面を把握。 働きぶりやチームワーク力 を評価
ポイント	基本的なコミュニケーション - マナー、聞く姿勢、伝える姿勢 - 自主性・積極性・協調性 - 入社後に、社内・お客様とのコミュニケーションを安心して任せられるか - 自分らしい言葉や態度で、自分のよさを伝えられているか	基本的なコミュニケーションの力 - 的確な受け答えができているか - 働くことへの準備・熱意はあるか - のびしろはあるか（成長の可能性：経験から学び、行動に生かせること）	基礎能力面と意欲面。主体性とチームワーク - メンバーはライバルではない - 役割に有利不利はない - 結論から話す - 確かな知識で討論する 「全員参加」を意識する
具体例	第一印象 - 笑顔・表情・視線・歩き方・姿勢 基本的な質問が多い - ガクチカ、自己PR、志望動機 集団であること - コンパクトにわかりやすく話す（1分程度） - 他の人の話を聞く姿勢	伝え方 - 第一印象（笑顔・表情・歩き方・姿勢） - 会話のキャッチボールを心掛ける - ポジティブに答える 内容 - 伝えている内容と、伝えている人物像が一致しているか - 結果よりも過程（プロセス）を伝える	聴く力／伝える力 - まったく発言をしない、だらだら話す、自分ばかり話す - 他者の意見を否定する チームワーク - 議論の進行に貢献しているか？ - 社会人としての基本的な態度がとれているか 知識 - 企業について調べているか - 社会的な事柄に関心があるか

動画選考（自己PR動画）について

『法政大学就活手帳』より抜粋

Step5 ● 履歴書・エントリーシート

動画選考(自己PR動画)

1 動画選考とは

近年、「動画選考」を導入する企業が増えています。動画選考は学生がスマートフォン等を使って自己PR等を動画で撮影し、企業に提出します。企業はその動画をもとに選考を行います。動画選考のタイミングは企業により異なりますが、書類選考の段階で動画の提出を求める企業が多いようです。

2 企業側のねらい

●エントリーシートだけでは分からない人柄を知り、効率よく選抜する

エントリー数が多い企業では、すべての応募者を面接で選考することができません。これまではエントリーシートや履歴書の内容で面接に呼ぶ学生を選んでいました。動画選考を取り入れることで、書類では判断できなかった学生の雰囲気や人柄、熱意などを見ることができ、効率的に求める人物を選抜するのが狙いです。

3 質問例

- 自由に自己紹介をしてください(1分以内)。
- 「学生時代に打ち込んだこと」について、自由に話してください。
- 志望動機を話してください。
- あなたはどのような人間ですか。そう考える理由とともに教えてください(1分以内)。
- 当社の業務に活かすことのできるあなたの「個性」を教えてください(2分以内)。

4 撮影時のポイント

●結論から話す

特に最初が勝負です。短い時間で伝えるために、結論から話しましょう(1分～2分程度の時間制限を設けているケースが多い)。話す内容を忘れないよう、撮影するカメラの近くにメモを見えるように置いておくなど工夫するのも良いでしょう。ただし、あくまでも自然体で話せるように何度も事前に練習しましょう。

●表情を意識

企業や職種によって評価のポイントに差はありますが、短い時間の場合、内容よりも印象の方が重要です。笑顔で明るい表情を心がけましょう。また志望動機等を話す際は熱意が伝わるよう意識しましょう。

●聴音や背景に注意

室内、屋外どちらも構いませんが、雑音が入らない明るい場所で撮影をしましょう。背景は、白や明るいグレーの壁がベスト。

Step5 ● 履歴書・エントリーシート

●撮影方法に注意

撮影の際はブレて見づらい動画にならないよう、三脚等を利用してカメラを固定して撮影しましょう。また友人など周囲の人に協力してもらえ場合は撮影をお願いしたり、チェックしてもらったりと良いでしょう。頭の上が切れないように少しだけ空間を作って撮影すると、全体のバランスが良くなります。

●服装について

基本的にはリクルートスーツで撮影しましょう。ただし、体育会やサークルのユニフォーム等自分らしさを表しやすい服装がある場合は、それを着用するのも良いでしょう。
※企業から服装について指示がある場合は従いましょう。

撮影前後にチェックしましょう！

- ☐ 清潔感のある服装・髪型ですか？
- ☐ シャツ・ブラウスにシワはありませんか？
- ☐ カメラは目線の高さになっていますか？
- ☐ 背景は白い壁等シンプルなものですか？
- ☐ 自分の顔が暗く映っていませんか？
- ☐ 使用するデバイスの充電はできていますか？
- ☐ スマートフォン等のデータ容量は十分ですか？



履歴書・エントリーシート

就職活動の基礎を学べる動画

主に2022年3月卒業予定者を対象とした主要な就職情報サイトが発信している、就職活動の基礎を学べる動画を「おすすめコンテンツ」としてまとめています。各サイトによって伝え方や進め方が異なる部分もありますが、就職活動の方法は様々です。自分に合った方法を見つけて取り組みましょう。各テーマについて、分からないことや困ったことがあれば、いつでもキャリアセンターにご相談ください。

【全学年】就職活動の基礎を学ぶおすすめ動画について



※本動画の掲載期限は、一部を除き2021年3月31日までの予定です。期限の異なるものはリンク先に期限を記載しています。



オンライン面接時の注意点

みだしなみ

- 基本はスーツ着用（上下）／企業指定に合わせる
- 清潔感を意識する（メイク、服のしわ）

インターネット回線

- Wi-Fiのバックアップに有線LANケーブルの用意。Wi-Fiの場合は、なるべく電波が強い場所を自宅内で探す
- 面接時間は家族の使用を控えてもらう

面接会場の用意

- 部屋の片付け！（背景をよく確認）

映り方

- 頭の上が切れていない
- 胸元まで写っている
- 仰角すぎない（PCのカメラ位置が低い場合は注意）
- 逆光で顔が真っ白になっている／部屋が暗すぎて顔がよくわからない
→デスクライトなど、照明を使って工夫
- できるだけ背景は白く。バーチャル背景は基本使用しない
- カメラ目線の確認（自分の思うカメラ目線が意外にずれている。
必ず一度、他者に確認してもらう）
- アカウント名の変更。例：「氏名（法政大学）」

音声・バックアップ

- マイク付きイヤホン、ヘッドセットなどの利用可
- 緊急連絡先の確認、ハプニングに備えて、携帯電話を必ず側に置く
- スマホ、タブレット利用の際は充電に注意

当日

- 指定時間5分前を目安にアクセスする（入室する）
- 元気よくあいさつ。双方で映像、音声の状況を確認する。
「聞こえていますか、画面は問題ないでしょうか」等

その他

- キーボードでメモ打ちNG（会議ではありません）
- カンペをガン見（バレます）
- 上半身だけ着替えて失敗！（ハプニングで立ち上がることに）
- 無表情（カメラ相手だけれど、笑顔の練習！）

頭の上に少し余裕がある程度

「首だけ」にならないように
胸元まで映る位置で

- オンライン面接は、基本ルールが定まっていない分があります。そのため、常に「相手からどう見えるか」、「どのような場であるのか」を意識して行動してください。

身だしなみについて

『法政大学就活手帳』より抜粋

Step4 ● セミナー・会社説明会

リクルートスタイル&身だしなみ

マナーの基本。身だしなみを確認しよう！ p.122~123 参照

基本のリクルートファッションの次に大事なことは、「自分に似合っていて、清潔感と明るい印象が与えられるかどうか」です。個性的なヘアスタイルや服装が絶対いけないという訳ではありませんが、採用担当者に会う際には、基本的なルールを守りましょう。

身だしなみ 男性編

● メガネ

メガネのフレームは顔の幅がベター

● 髪

ヒゲは必ず剃っておく

● ネクタイ

落ち着いた色のものを

● カバン

A4判の黒のカバン。置いた時に立つものがよい

● ズボン

しっかりプレスを

● 靴下

スーツと同系色。スポーツソックスは不可

● 靴

黒など。よく磨いておく

● ヘアスタイル

短めで清潔に

● スーツ・シャツ

スーツは、黒か紺のシングルが基本。シャツは白のレギュラーカラーが基本。コートは建物に入る前に脱ぎ、裏返しにして手に持つ

● 時計

時計はスーツに合うものを

● クールビズ

企業から「クールビズ」と言われた場合、ジャケットは脱いで、ネクタイもはずす。念のためジャケットとネクタイは持参しよう。インナーは白無地で



身だしなみ 女性編

● メイク

ナチュラルメイクで健康的に

● カバン

A4判の黒のショルダーバッグか手提げタイプ。置いた時に立つものがよい

● クールビズ

企業から「クールビズ」と言われた場合、ジャケットは脱いでOK。念のため持参しよう。下着は透けない色を着用



● ヘアスタイル

長い髪はまとめてすっきりと

● スーツ・ブラウス

スーツは、黒か紺が基本。ブラウスは白。襟元をすっきりと。コートは建物に入る前に脱ぎ、裏返しにして手に持つ

● スカート

ひざにかかる程度。パンツスーツも可

● スtocking

自然な色。必ず予備を用意

● 靴

ヒール3~5cmのパンプス。色は黒が基本

POINT!

① 服装選びに気をつけよう

スーツやシャツ・ネクタイなどは、就職活動における身だしなみをふまえ、自分にあった形や色をお店の人や社会人としてのアドバイスができる人と相談しながら、選びましょう。

② スーツや靴の手入れも入念にしよう

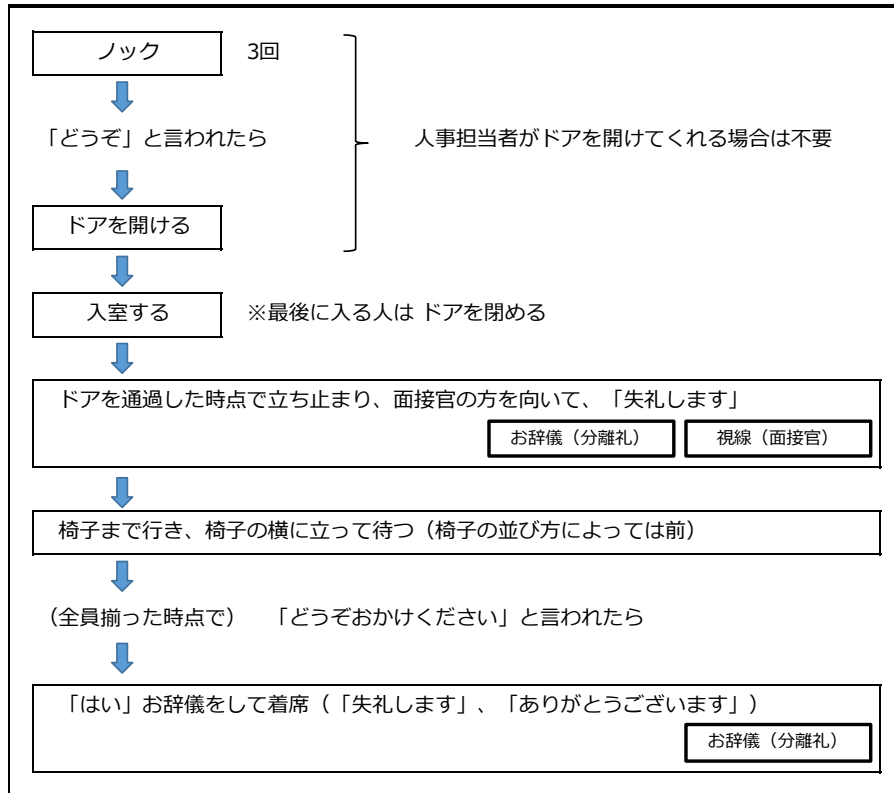
シワや汚れなどは意外に目につくものです。スーツは着た後にキッチンと手入れをして収める習慣をつけましょう。靴は、常に汚れを落とすビカビカに磨いておく、外出するときに履いておくと、履きやすくなります。

③ アクセサリーは控えよう

アクセサリーはできるだけ外し、時計もあまり派手なものは避けましょう。爪はきちんと切り、マニキュアをするのであれば、透明などナチュラルに見えるものに。

対面面接・入退室手順（集団面接）

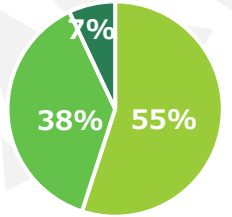
<入室時>



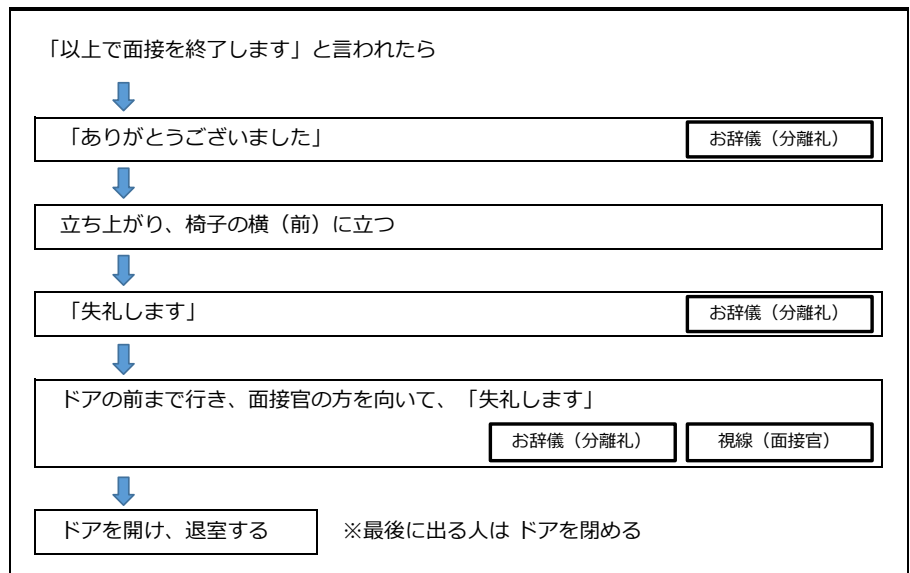
【参考：メラビアンの法則】

✕：外見が第一

○：態度や表情がつまらなそうだと、言葉でどれほど「楽しい」と言っているか、「つまらなそう」という印象のほうが伝わりやすい、ということを示したもの



<面接終了後、退室時>



- 頭でイメージするだけでなく、**実際に身体を動かして実践してみる**ことが大切です。特に「**分離礼**」は理解していても、とっさに出てこない場合があります
自宅て、模擬面接で、意識して実践してみてください
（分離礼：言葉と動作を別々に行う。言葉→動作。例：「ありがとうございました」「失礼します」などを面接官へ向かって言い切ってから、お辞儀をする）
- マナーはルールではありません。その場や状況に応じて、柔軟な対応を心がけましょう